

2025年日本国際博覧会 未来社会ショーケース事業「グリーン万博」への協賛
～会場内EVバス停にてカーボンニュートラルの取組みを発信～

2024年9月25日
関西電力株式会社

当社は、2025年日本国際博覧会（以下、大阪・関西万博）の未来社会ショーケース事業※ 「グリーン万博」に協賛することとしました。

本協賛において、当社は、大阪・関西万博会場への電力供給をはじめとするカーボンニュートラルに向けた取組みを発信する場として、既に公表している「来場者移動EVバス」との親和性も考慮し、会場内の3か所に未来社会をイメージしたバス停を建築します。

多くの来場者の利用が見込まれる会場内EVバス停において、映像機器等による演出を通じて、幅広い世代の方に、未来のエネルギーに関する情報に触れていただくことで、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会が掲げる「EXP02025グリーンビジョン」の理解促進に努めてまいります。

引き続き、当社は、関西地域に根ざした企業として、大阪・関西万博の成功に向けて協力してまいります。

以上

別紙：会場内EVバス停の概要

※ 未来社会ショーケース事業は、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会」を支える技術・サービスを、2025年以降の未来を感じさせる「実証」と2025年の万博にふさわしい「実装」の形で、「未来社会の実験場」となる万博会場の整備、運営、展示、催事などに活用し、国内外の幅広い参加者や来場者に、体験として提供する事業群の総称です。



別紙



会場内EVバス停の概要

関西電力株式会社

2024年9月25日

建築予定のバス停の位置図（3か所）



※画像はイメージです。実際の会場とは配置・建物形状が一部異なる場合がございます。（提供：2025年日本国際博覧会協会）

※9/25現在、バス停の名称はいずれも仮称です。

①風の広場停留所のデザイン・コンセプト



風や雲をイメージした屋根に、当社のコーポレートカラーに沿わせつつ、内部にはボロノイ※形状のフレームと映像機器を設置します。

このボロノイ形状のデザインは、ボロノイ構造を採用した「電力館 可能性のタマゴたち」との一体感を醸成しています。

- ・全長 約 18.6 m
- ・幅 約 2.3 m
- ・高さ 約 4.5 m



※ ボロノイとは、平面上にランダムに配置された複数の点同士の距離によって領域を分割した図で、それぞれの領域が多面的な幾何学模様を生み出します。骨組みが不規則に結合することで多様な形の空間が構築でき、建築の意匠や都市デザインに応用されています。

②東ゲート停留所のデザイン・コンセプト



- ・全長 約 20.0 m
- ・幅 約 3.7 m
- ・高さ 約 7.7 m

ボロノイ形状に加えて、タマゴ形状の要素を取り入れ、タマゴ型の外観の電力館との一体感を醸成しています。

異なる大きさのタマゴは「可能性の広がり」と「多様性」を表しています。

また、光沢感のあるスチールパネルは「未来社会へのかがやき」を表現しています。



③JAPANマルシェ停留所のデザイン・コンセプト

木材を用いることで、“伐って、使って、植えて、育てる”を繰り返す森林のサイクルをイメージし、「持続可能な未来社会」を表現しています。

バス停の正面には、他の当社協賛バス停との共通の要素として、ボロノイ形状の格子と映像機器を設置します。



- ・全長 約 33.0 m
- ・幅 約 3.0 ~ 6.0 m
- ・高さ 約 4.0 m